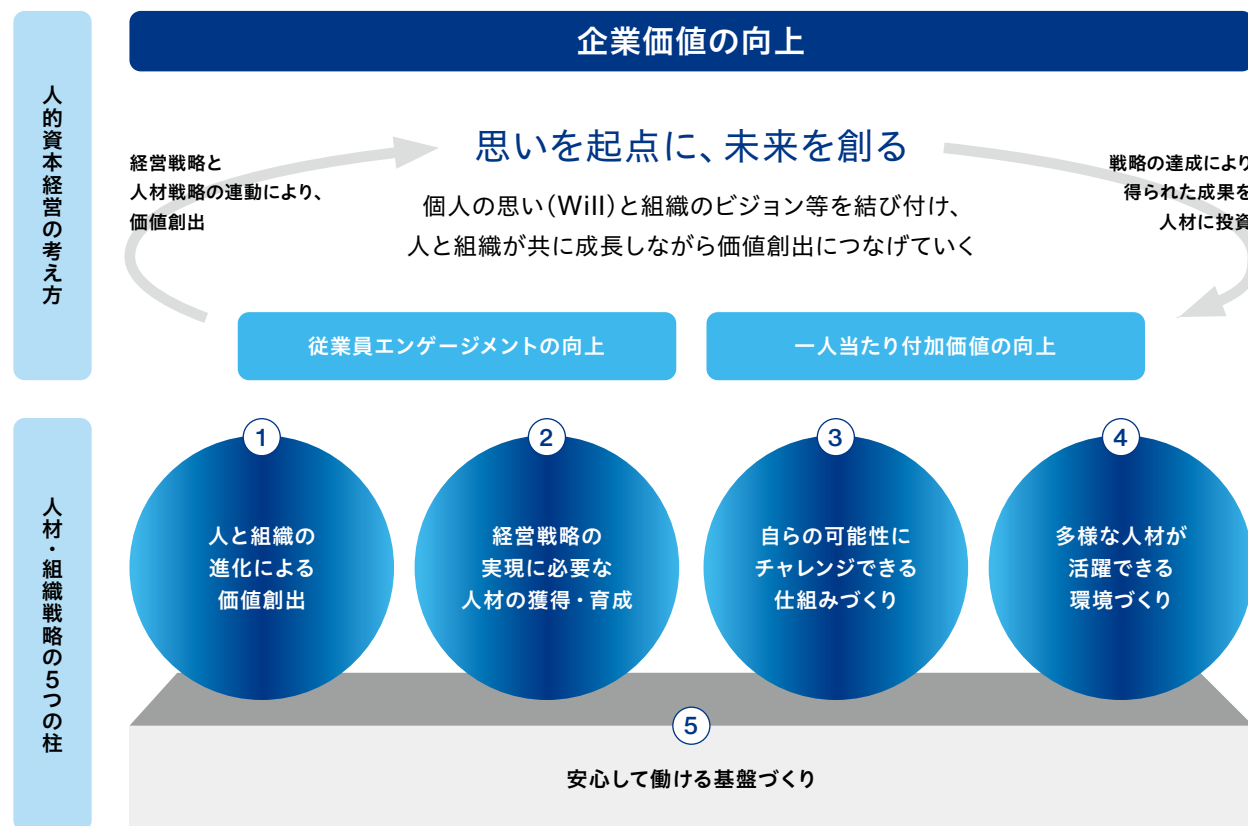


HUMAN CAPITAL MANAGEMENT 人的資本経営

人的資本経営の推進

経営戦略を実現し持続的に企業価値を高めていく原動力は「人材」であるとの認識のもと、「思いを起点に、未来を創る」を基本理念に掲げた人的資本経営を推進しています。組織風土変革であるQX(Qden Transformation)をはじめ、人材・組織戦略の5つの柱の下、体系的な取組みを進めています。

人的資本経営における人材・組織戦略の5つの柱と価値創出のプロセス



これまでの取組み成果

2025年度は、従業員エンゲージメントレーティングが「AA」へ向上し、2030年度目標を前倒しで達成しました。また、外部からの評価として、「人的資本リーダーズ2025」ではQXをはじめとする先進的な人材施策の展開が、「人的資本経営品質ゴールド」では人的資本経営の体系的な推進と情報開示の充実が価値あるものと評価され、それぞれの受賞につながりました。

従業員エンゲージメントレーティング

実績 2024年度：A
2025年度：AA
目標 2030年度以降：AAを維持

外部評価

人的資本リーダーズ 2025 人的資本経営品質2025

純粋持株会社体制への移行と企業価値向上に向けた新たな挑戦

純粋持株会社と基幹会社が一体となり、グループ全体最適の視点で人材・組織戦略を策定・実行する体制を構築しています。CHRO(Chief Human Resource Officer)の設置に加え、新設した「人材委員会」において人材戦略や人的投資の方向性を議論・審議しています。加えて、各基幹会社に配置したHRBP(Human Resource Business Partners)機能を通じて、事業特性や経営課題に応じた人材施策を展開し、事業戦略と人材戦略の一体的な推進を図っています。

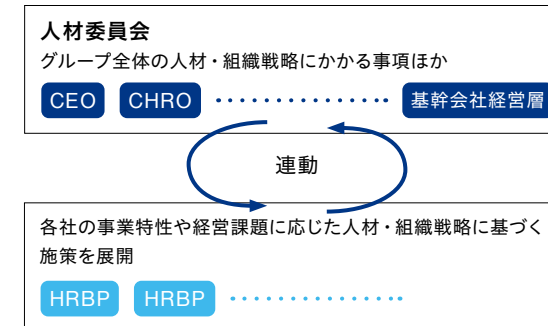
また、経営戦略と人材・組織戦略を接続し、人的資本(非財務)が事業成果(財務)に結び付く流れを「価値連関ストーリー/インパクトパス」(P.73)として可視化しました。キューデングループの人的資本経営におけるマネジメントの基盤として活用しながら人的資本経営の実効性を高めていきます。

人材委員会の位置付け・設計

純粋持株会社と各基幹会社の経営層(各社社長、関係役員等)で構成。人的資本経営にかかる事項について、幅広く議論・審議。

テーマ例

- ・事業ポートフォリオ戦略と連動した人材戦略
- ・グループ横断の人材配置・育成
- ・人的投資の企画・評価
- ・KPIマネジメント、人材・組織の課題
- ・エンゲージメント向上施策など



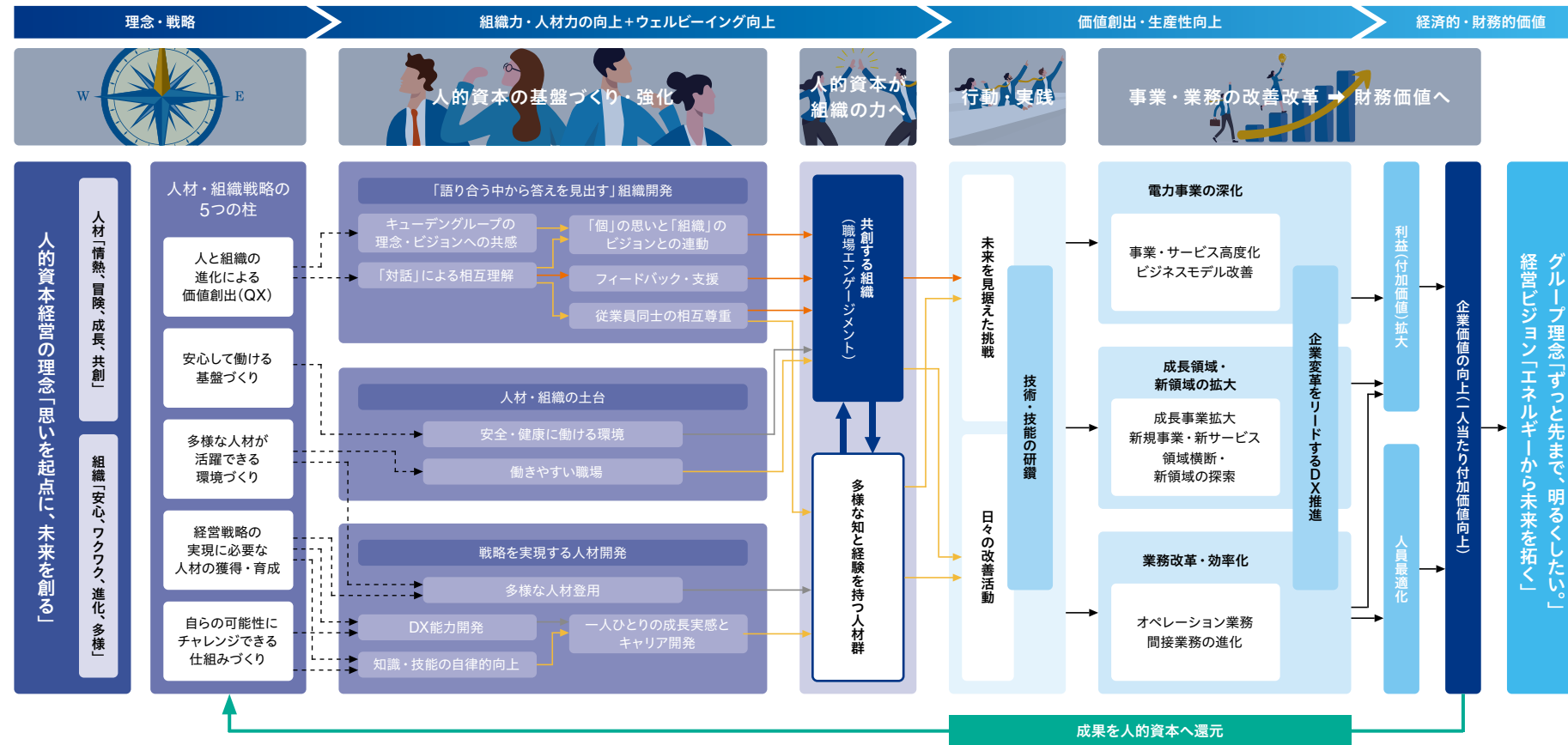
HUMAN CAPITAL MANAGEMENT 人的資本經營

価値関連ストーリー／インパクトパス

経営戦略と人材戦略との接続を可視化し、「人的資本(非財務)」と「事業成果(財務)」の因果や関係性を「価値連鎖ストーリー／インパクトパス」として整理しました。「経営ビジョン2035」の人材目標の位置付けを明確化するとともに、各項目には各施策の進捗や課題をモニタリング・改善するためのKPI(全32指標)を設定しています。

* 各項目のつながりについては、関連データの統計分析を行い定量的な裏付けを可能な限り確認

KYUDEN GROUP 価値関連ストーリー／インパクトパス設計



■ KPI ■ 人材目標 → 相関(0.5以上) → 強い相関(0.7以上) ※ 相関は統計的に有意な関係性があるものを掲載(P<0.001)

主要KPIと目標値

項目	KPI	目標値		2025年度実績	
		2030年度	2035年度		
「対話」による相互理解	職場での対話実施率	90%	※1	90%	
安全・健康に働ける環境	委託・請負先も含めた重大な労働災害	0件	0件	8件	
働きやすい職場	男性育休取得率	100%	100%	104.2%	
多様な人材登用	女性管理職比率	課長以上	4%	6%	1.7%
		全体	7%	12%	3.9%
	採用全体に占める経験者採用比率	20%	20%	19.7%	
知識・技能の自律的向上	中長期的な知識・技能向上	70%	※1	74%	
共創する組織	エンゲージメントレーティング	AA	AA	AA	
未来を見据えた挑戦	新事業・サービス開発件数	累計30件	検討中	累計13件	
日々の改善活動	チャレンジ活動件数	5,000件	10,000件	※2	

※1 2030年度までの実績を踏まえ再設定予定

※2 2026年度までにチャレンジ活動システム(仮称)導入予定

(注) 現在対象は九州電力、九州電力送配電の2社。2027年度よりホールディングス及びすべての基幹会社に展開予定

HUMAN CAPITAL MANAGEMENT 人的資本経営

多様な人材の挑戦・活躍を支える仕組み

働くことがワクワクする職場へ：QX「思いをカタチに」

QXに関する詳細は、サステナビリティレポート P.78

「人と組織が共に成長し、価値創出につなげる」ことを目指す人的資本経営における中核的な活動として、QX(Qden Transformation)に取り組んでいます。従業員一人ひとりの「思い(Will)」を起点に、組織のビジョン等を結び付けながら、対話を通じて一人ひとりがそれぞれの挑戦に一步踏み出す「冒険」を後押ししています。

Willから生まれた実践例

実践例に関する詳細は、サステナビリティレポート P.79

1. 多様な声を組織の変化につなげる

「女性特有の健康課題への理解を深め、誰もが安心して働ける環境づくりをしたい」という思いから、ウィメンズ・カウンスル※では、生理休暇の名称変更や利用促進につながる取組みが生まれています。



※ 多様な声を活躍環境に活かす活動

2. 対話から広がるDX

「もっと業務を良くしたい」という一人ひとりの思いから、DXアンバサダーの活動が広がっています。DXツールの展開や、部門・拠点を越えた学び合いの輪を形成。職場全体の行動変容を促し、対話と共創を通じて、現場から変革が広がっています。



多様な人材の活躍を支えるキャリアルート

「多様な知と経験を持つ人材」の獲得に向けて、経験者採用を積極的に推進するとともに、一人ひとりが知識・経験・専門性を活かし、自律的なキャリア形成を実現できるよう、複線型のキャリアルートを整備しています。分野を問わず幅広い領域で活躍を目指すルートに加え、専門性に応じた2つのルートを整備することで、一人ひとりが自身の強みを活かして活躍できる環境を整え、持続的な企業価値の向上につなげています。

一般的なキャリアルート

幅広い領域で、能力やマネジメント力を発揮

エキスパートルート

社内で養成した専門力を磨き、特定分野で発揮

プロフェッショナルルート

社外等で獲得した希少な知識・経験・専門性を発揮



エキスパート 吉田 竜也

九州電力(株) 企画・需給本部
需給運用センター 需給運用グループ

電力の安定供給を支える需給運用の専門性を活かし、需給計画や電力取引の最適化を推進



プロフェッショナル 蒲原 達也

九州電力送配電(株) 系統技術本部
デジタル変革推進室 デジタルエンジニアリンググループ

デジタル技術の専門性を活かし、システム開発や開発基盤の整備、技術人材の育成を通じてDXを推進

QXアワード「その一步を、次の挑戦へ」～挑戦を皆で称え、価値創造を加速～

個人の思いやプロセスを重視した取組みを称えることで一人ひとりのチャレンジを後押しし、挑戦する風土を広げていくことを目的として2026年度からQXアワード(表彰式)を創設しました。

初年度は73件のエントリーの中から6件が表彰されました。従業員投票では、「共感した」「学びになった」と感じた取組みに投票してもらうことで、多様な挑戦を組織全体で共有される仕組みとしています。

今後もチャレンジによる成果の大小にかかわらず、挑戦に至る思いやプロセス、そこから得られた知見に光を当て、新たな価値創出につながる挑戦を後押ししていきます。



QXアワード2026受賞式

(注) 受賞時の所属を記載

QXアワード2026受賞事例

01 所内横断型改善モデルによる働き方改革の推進



オガサワラ 英里

九州電力(株)
原子力発電本部 川内原子力発電所 総務部 総務グループ

概要 所内横断型の改善モデルを構築。現場発の小さな改善を積み重ねる仕組みで業務のムダを削減

Will 現場のWillを大切に、誰もが安心して思いを発信し、力を発揮できる職場をつくりたい

02 水中ドローン活用による海底ケーブル点検の効率化



森田 真彦

九州電力送配電(株)
長崎支社 電力部 設備管理グループ

概要 点検の安全性を高めつつ、作業時間とコストを大幅に削減し、設備保全の効率化と技術継承にもつなげる

Will 専門的な技術力の向上と継承、新たな技術への挑戦を通じて、グループの成長につなげたい

新たな価値創造に向けた取組み

KYUDEN i-PROJECTに関する詳細は、サステナビリティレポート P.80

グループ全体で新たな事業・サービスを生み出すため、2017年から「KYUDEN i-PROJECT」を展開しています。

その一環として、イノベーションに熱意・関心のあるグループ社員を対象に、有望なビジネスアイデアの創出を目指す企画「i-Challenge」を開催しています。

これまで1,000人以上が参加し、700件を超えるアイデアが生まれるなど、自律的な挑戦を通じた新たな価値創造に取り組んでいます。



新規ビジネス創出研修